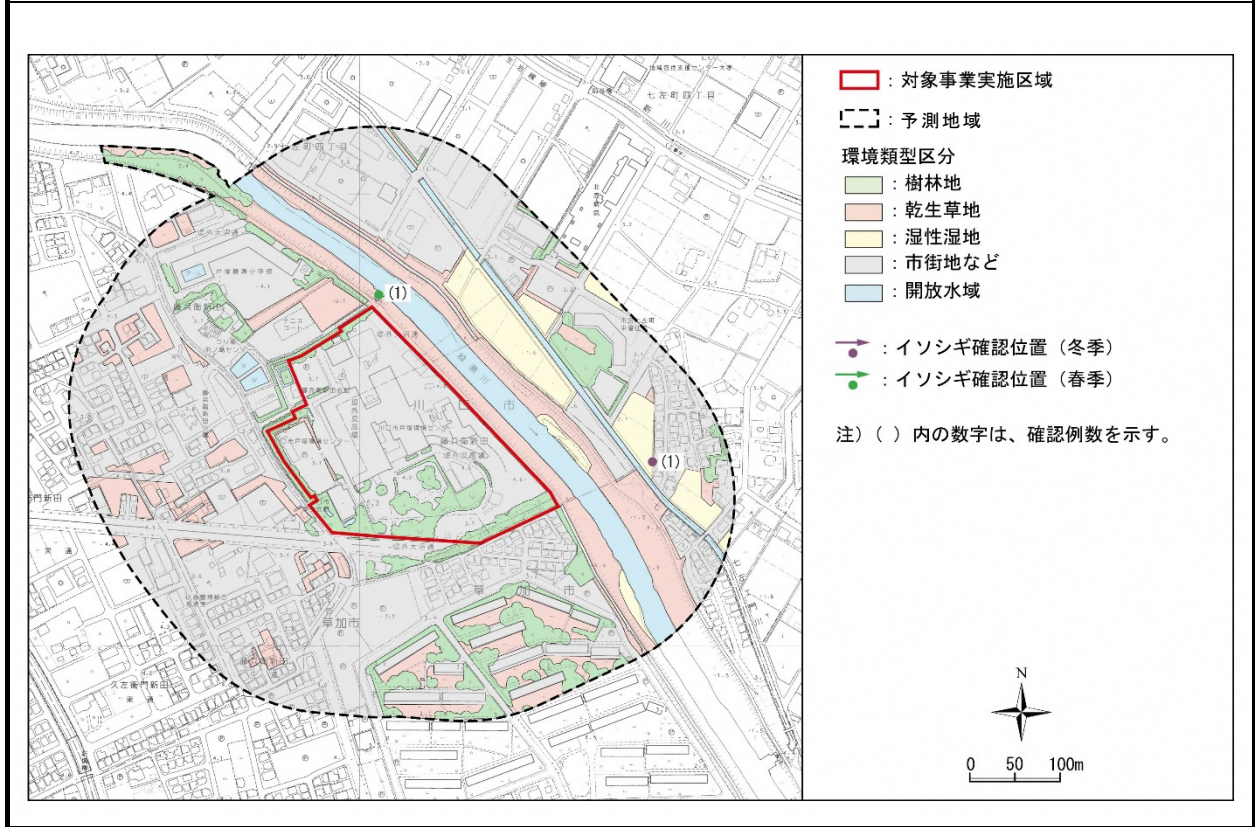


表 9.8-27(9) 保全すべき種の予測結果 (イソシギ)

項目	内容					
主な生息環境	河川、湖沼、海岸、干潟、河口等に生息する。					
	予測地域 (ha)	2.3	変更区域内 (ha)	0 ^{注)}	予測地域に対する 消失の割合 (%)	0 ^{注)}
現地確認状況	対象事業実施区域外の水田横の水路で 1 例、対象事業実施区域外の綾瀬川と支流との合流部で 1 例が確認された。					
	対象事業 実施区域内	0 例	対象事業 実施区域外	2 例		
予測結果	<p>対象事業実施区域外で 2 例が確認された。本種の主な生息環境は、河川、湖沼、海岸、干潟、河口等であり、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、対象事業実施区域周辺を生息環境としている可能性が考えられる。</p> <p>対象事業実施区域内の開放水域は人工的な庭園であり、変更区域内に本種の生息環境はないことから、事業の実施に伴う生息環境の改変等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、騒音・振動及び光環境の変化による生息環境の質的変化が生じる可能性があるが、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により間接的影響は低減されると考えられることから、工事中における間接的影響は小さいと考えられる。なお、濁水による生息環境の質的変化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生息環境の改変による影響、及び生息環境への間接的影響は小さいと考えられる。</p>					

確認位置



注) 変更区域内の開放水域は人工的な庭園であり、本種の生息環境ではないため、変更区域内の生息環境から除外した。

表 9.8-27(10) 保全すべき種の予測結果 (タシギ)

項目	内容				
主な生息環境	水田、河川、湖沼などの湿地。				
	予測地域 (ha)	1.7	変更区域内 (ha)	0	予測地域に対する 消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外のクワイ畑で1例が確認された。				
	対象事業 実施区域内	0例	対象事業 実施区域外	1例	
予測結果	<p>対象事業実施区域外で1例が確認された。本種の主な生息環境は、水田、河川、湖沼等の湿地であり、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、対象事業実施区域周辺を生息環境としている可能性が考えられる。</p> <p>変更区域内に本種の生息環境となる湿地等は存在しないことから、事業の実施に伴う生息環境の改変等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、騒音・振動及び光環境の変化による生息環境の質的变化が生じる可能性があるが、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により間接的影響は低減されると考えられることから、工事中における間接的影響は小さいと考えられる。なお、濁水による生息環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生息環境の改変による影響、及び生息環境への間接的影響は小さいと考えられる。</p>				

確認位置

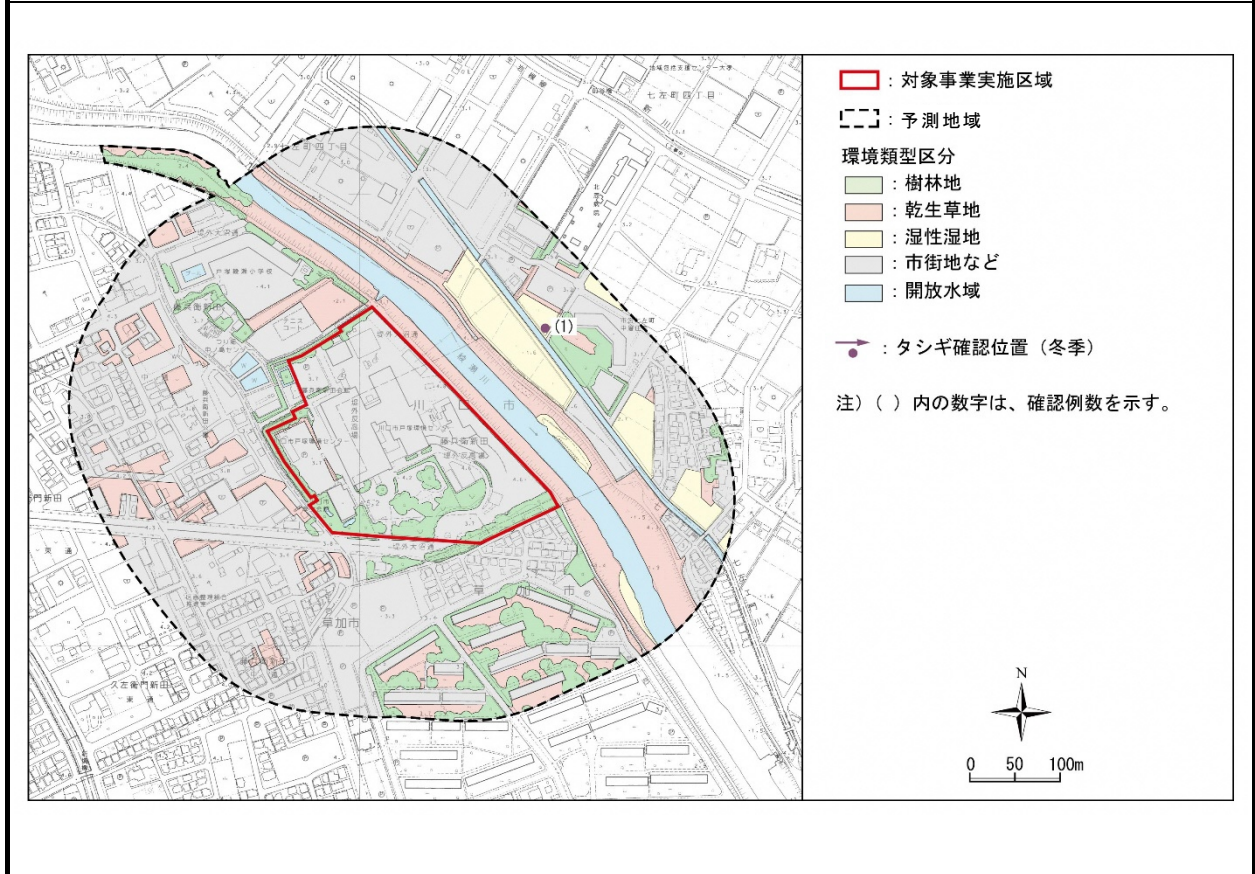
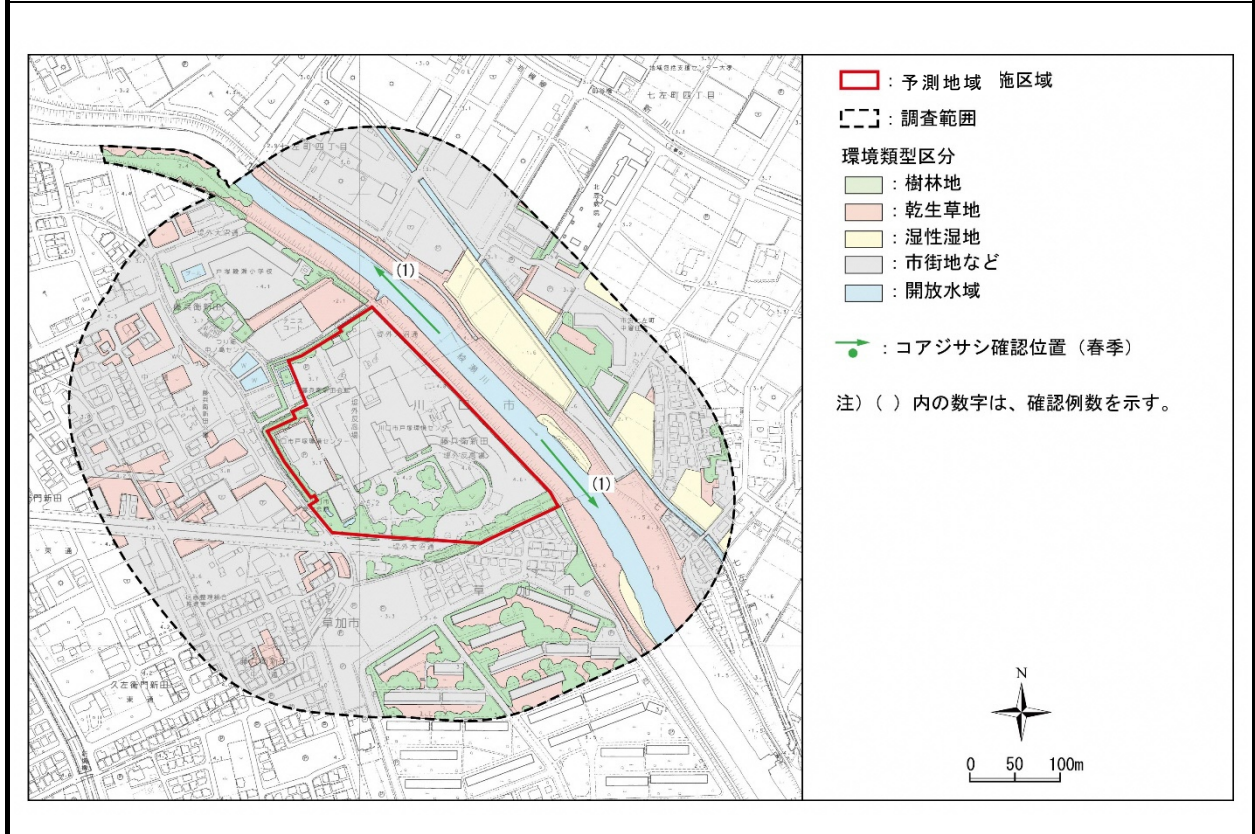


表 9.8-27(11) 保全すべき種の予測結果 (コアジサシ)

項目	内容					
主な生息環境	海岸、干潟、湖沼、河川等で魚を採餌し、その周辺で休息する姿が見られる。					
	予測地域 (ha)	2.3	変更区域内 (ha)	0 ^{注)}	予測地域に対する消失の割合 (%)	0 ^{注)}
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬川上空を飛行する計 2 例が確認された。					
	対象事業実施区域内	0 例	対象事業実施区域外	2 例		
予測結果	<p>対象事業実施区域外で 2 例が確認された。本種の主な生息環境は、海岸、干潟、湖沼、河川等であり、採餌や繁殖を示す行動はみられなかったことから、対象事業実施区域周辺を生息環境としている可能性が考えられる。</p> <p>対象事業実施区域内の開放水域は人工的な庭園であり、変更区域内に本種の生息環境はないことから、事業の実施に伴う生息環境の変更等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、騒音・振動及び光環境の変化による生息環境の質的变化が生じる可能性があるが、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は小さいと考えられる。なお、濁水による生息環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生息環境の変更による影響、及び生息環境への間接的影響は小さいと考えられる。</p>					

確認位置

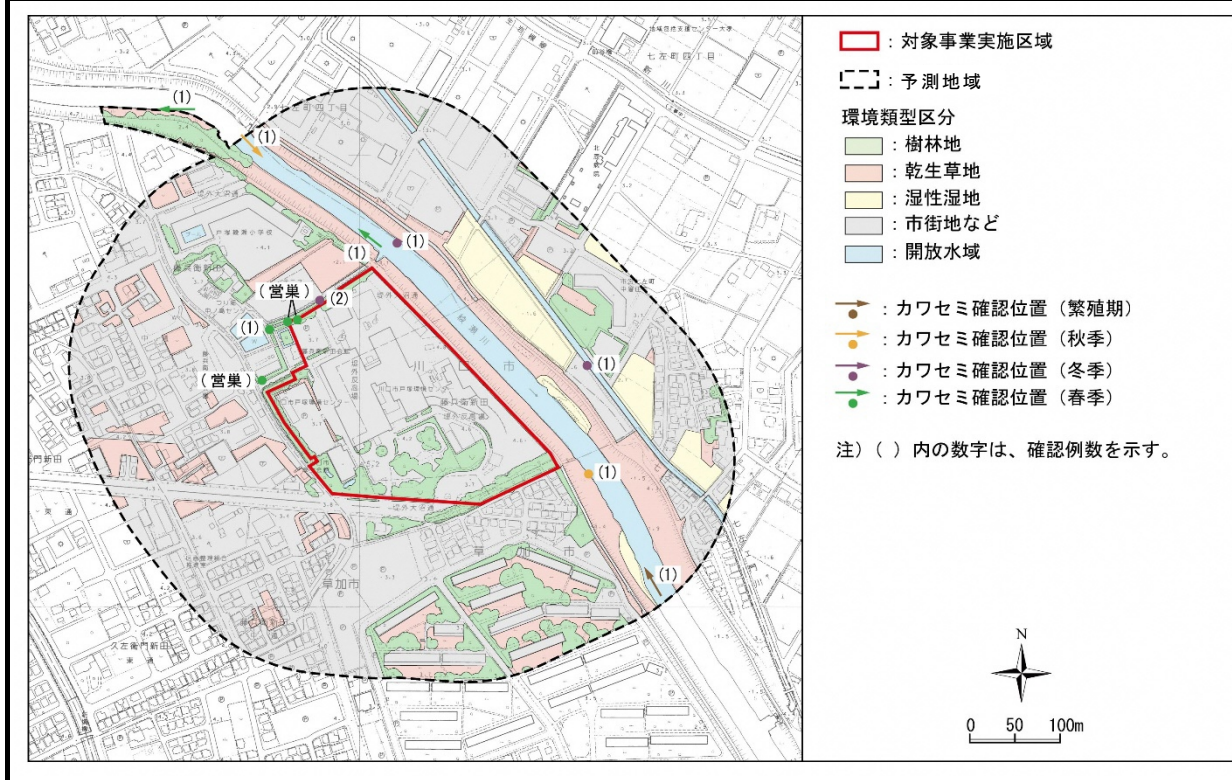


注) 変更区域内の開放水域は人工的な庭園であり、本種の生息環境ではないため、変更区域内の生息環境から除外した。

表 9.8-27(12) 保全すべき種の予測結果 (カワセミ)

項目	内容				
主な生息環境	河川、湖沼、小川、用水などの水辺で見られる。土の崖に嘴で巣穴を掘る。水辺に繁殖適地がないと、人が掘った穴の側面や残土等の土盛に巣を作ることがある。				
	予測地域 (ha)	2.3	変更区域内 (ha)	0 ^{注)}	予測地域に対する消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬川で計 7 例、戸塚環境センター北側の排水路で計 3 例が確認された。 また、戸塚環境センター北側の排水路沿いの水抜き穴 3 箇所、営巣が確認された。				
	対象事業実施区域内	0 例	対象事業実施区域外	10 例	営巣：3 箇所
予測結果	<p>対象事業実施区域外で 10 例が確認され、対象事業実施区域北側の水路の水抜き穴で営巣が確認された。対象事業実施区域内では飛翔は確認されなかったこと、本種の主な生息環境は、河川、湖沼、小川、用水等の水辺であることから、対象事業実施区域周辺を生息環境の一部として利用している可能性が考えられる。なお、本種の本来の営巣環境は土の崖であり、対象事業実施区域周辺の水抜き穴は代替的な営巣環境として利用していると考えられる。</p> <p>対象事業実施区域内の開放水域は人工的な庭園であり、変更区域内において本種の営巣環境を含む生息環境はないことから、事業の実施に伴う生息環境の改変等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、騒音・振動及び光環境の変化による生息環境の質的変化が生じる可能性があるが、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により間接的影響は低減されると考えられることから、工事中における間接的影響は小さいと考えられる。なお、濁水による生息環境の質的変化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生息環境(営巣環境を含む)の改変による影響、及び生息環境への間接的影響は小さいと考えられる。</p>				

確認位置



注) 変更区域内の開放水域は人工的な庭園であり、本種の生息環境ではないため、変更区域内の生息環境から除外した。

表 9.8-27(13) 保全すべき種の予測結果 (ウグイス)

項目	内容				
主な生息環境	下生えの多い林、ササやぶ、草生地、ヨシ原、林縁の茂み、市街地や公園や庭の植え込みや生垣等				
	予測地域 (ha)	11.3	変更区域内 (ha)	1.0	予測地域に対する消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬川の岸部で1例が確認された。				
	対象事業実施区域内	0例	対象事業実施区域外	1例	
予測結果	<p>対象事業実施区域外で1例が確認された。本種の子な生息環境は、下生えの多い林、ササやぶ、草生地、ヨシ原、林縁の茂み、市街地や公園や庭の植え込みや生垣等であることから、対象事業実施区域及び周辺を生息環境としている可能性が考えられる。</p> <p>造成工事により生息環境である樹林地の一部が一時消失するが、緑地整備の実施により、供用時には現在と同様の状況が維持され、生息環境を代償できることから、影響は小さいと考えられる。</p> <p>工事中は、騒音・振動及び光環境の変化といった生息環境の質的变化が生じる可能性があるが、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により間接的影響は低減されると考えられる。また、本種は移動能力が大きいため、一時的に対象事業実施区域周辺へ逃避するとも考えられることから、工事中における間接的影響は小さいと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生息環境の改変による影響、及び生息環境への間接的影響は小さいと考えられる。</p>				

確認位置

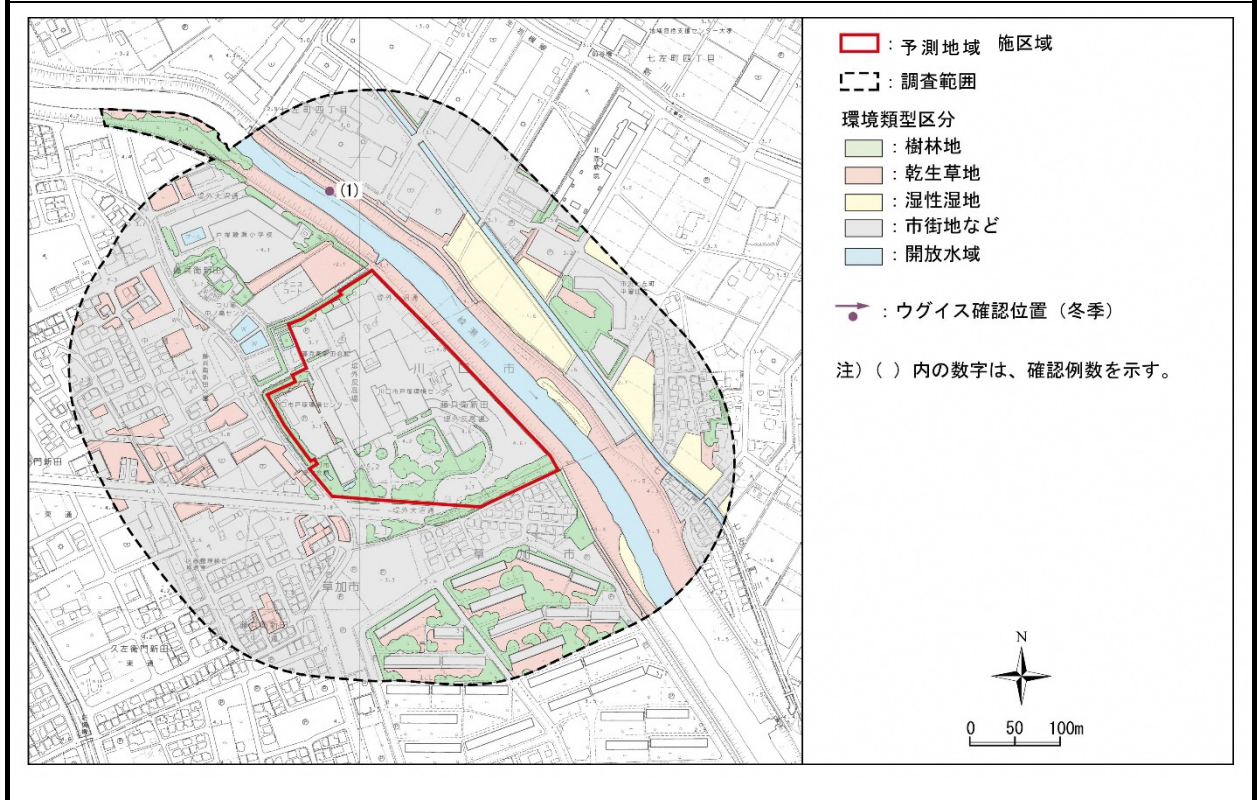


表 9.8-27(14) 保全すべき種の予測結果 (オオヨシキリ)

項目	内容				
主な生息環境	河川、湖沼、休耕田等のヨシ原				
	予測地域 (ha)	0.2	対象区域内 (ha)	0	予測地域に対する 消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬川の河川敷の草地及びヨシ原で計 4 例が確認された。				
	対象事業 実施区域内	0 例	対象事業 実施区域外	4 例	
予測結果	<p>対象事業実施区域外で 4 例が確認された。本種の主な生息環境は、河川、湖沼、休耕田等のヨシ原であり、対象事業実施区域内では確認されなかったことから、対象事業実施区域周辺を生息環境としている可能性が考えられる。</p> <p>変更区域内に本種の生息環境となるヨシ原等は存在しないことから、事業の実施に伴う生息環境の改変等の影響はないと考えられる。</p> <p>工事中は、騒音・振動及び光環境の変化による生息環境の質的变化が生じる可能性があるが、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により間接的影響は低減されることから、工事中における間接的影響は小さいと考えられる。なお、濁水による生息環境の質的变化は生じないと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生息環境の改変による影響、及び生息環境への間接的影響は小さいと考えられる。</p>				

確認位置

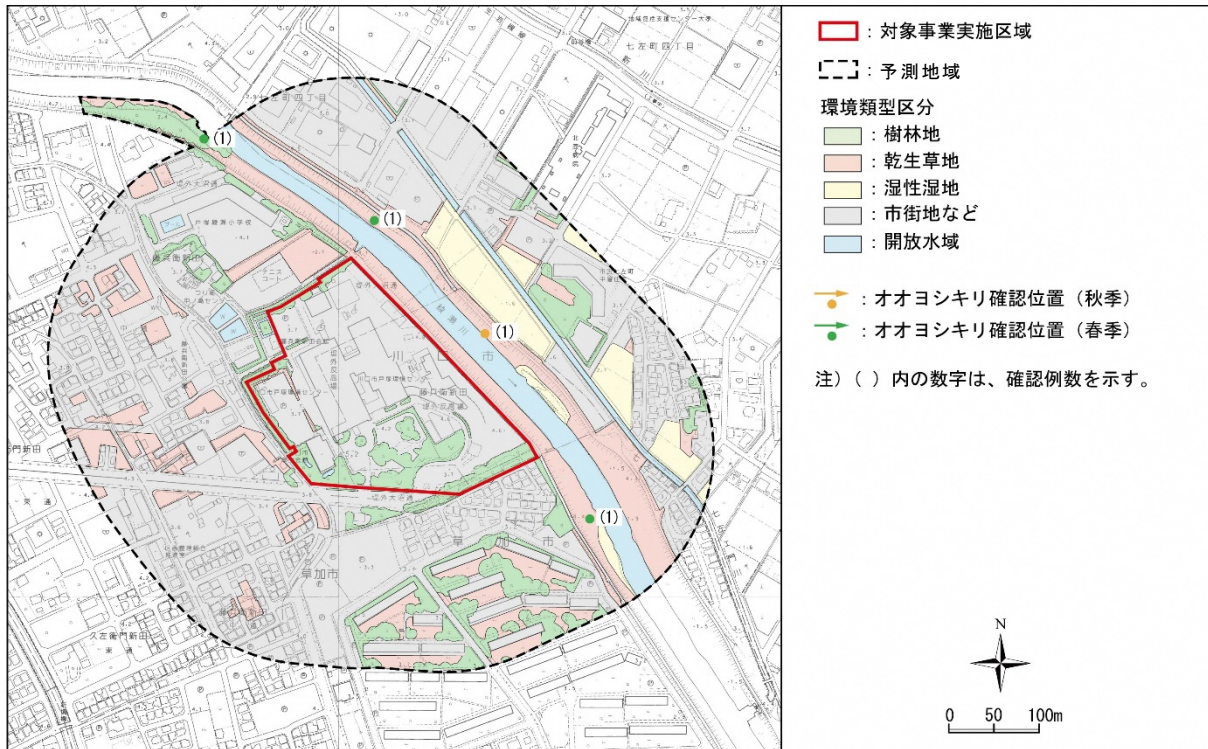


表 9.8-27(15) 保全すべき種の予測結果 (ホオジロ)

項目	内容					
主な生息環境	林縁の藪、植木畑周辺、河川敷の灌木等で繁殖する。					
	予測地域 (ha)	9.6	変更区域内 (ha)	1.0	予測地域に対する 消失の割合 (%)	10.4
現地確認状況	対象事業実施区域外で計 10 例確認され、確認位置の環境は、草地、低木、水田であった。					
	対象事業 実施区域内	0 例	対象事業 実施区域外	10 例		
予測結果	<p>対象事業実施区域外で 10 例が確認された。本種の主な生息環境は、林縁の藪、植木畑周辺、河川敷の灌木等であることから、対象事業実施区域及び周辺を生息環境としている可能性が考えられる。</p> <p>造成工事により生息環境である樹林地の一部が一時消失するが、緑地整備の実施により、供用時には現在と同様の状況が維持され、生息環境を代償できることから、影響は小さいと考えられる。</p> <p>工事中は、騒音・振動及び光環境の変化による生息環境の質的変化が生じる可能性があるが、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により間接的影響は低減されると考えられる。また、本種は移動能力が大きいため、一時的に対象事業実施区域周辺へ逃避するとも考えられることから、工事中における間接的影響は小さいと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生息環境の改変による影響、及び生息環境への間接的影響は小さいと考えられる。</p>					

確認位置

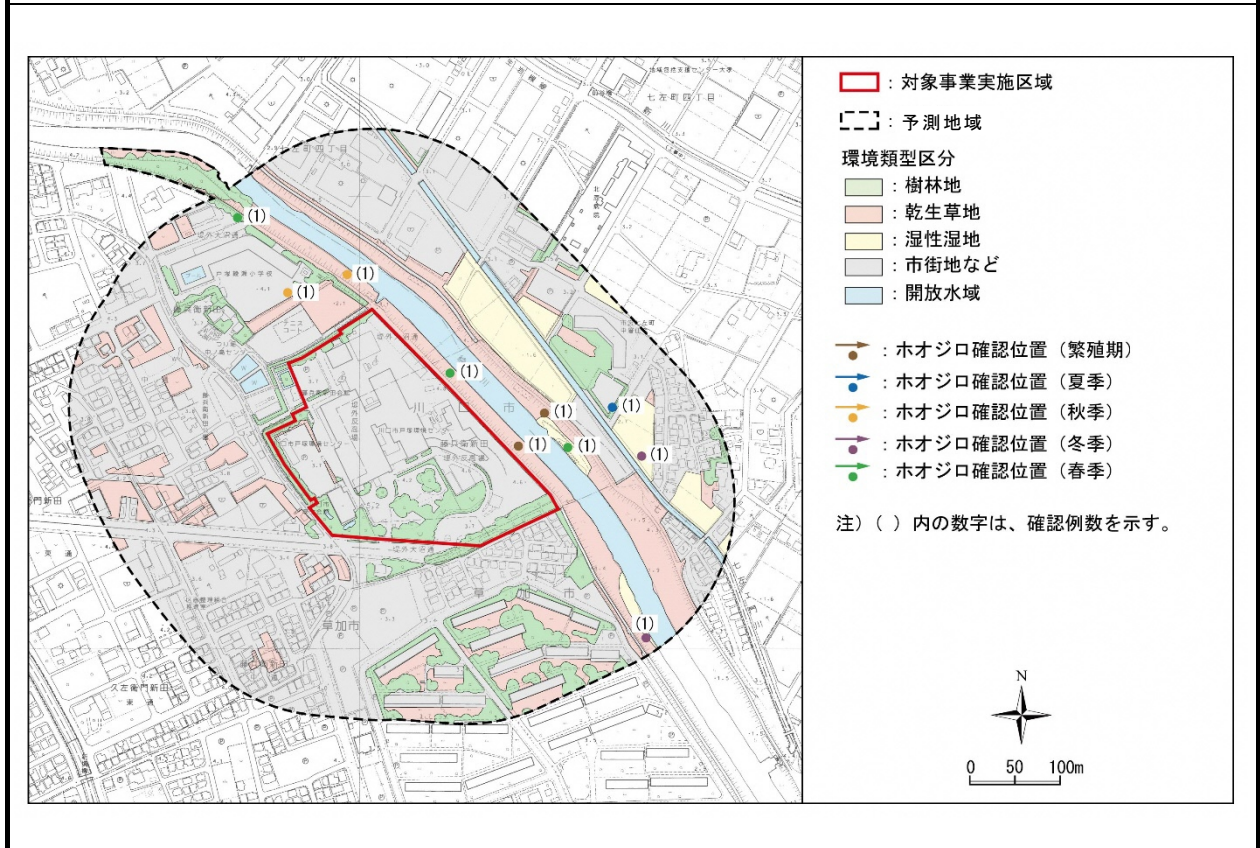


表 9.8-27(16) 保全すべき種の予測結果 (アオジ)

項目	内容				
主な生息環境	繁殖期は山地帯から亜高山帯の明るい林、草地などに生息し、冬季は平地から低山の林縁や藪、人家の庭などに生息する。				
	予測地域 (ha)	33.3	変更区域内 (ha)	3.8	予測地域に対する 消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域外の戸塚環境センター北側の水路脇、綾瀬川の河川敷の草地 2 箇所、綾瀬川東側の水田で、計 6 例が確認された。				
	対象事業 実施区域内	0 例	対象事業 実施区域外	6 例	
予測結果	<p>対象事業実施区域外で 6 例が確認された。本種の主な生息環境は、林縁や藪、人家の庭等であることから、対象事業実施区域及び周辺を生息環境としている可能性が考えられる。</p> <p>造成工事により生息環境である樹林地の一部が一時消失するが、緑地整備の実施により、供用時には現在と同様の状況が維持され、生息環境を代償できることから、影響は小さいと考えられる。</p> <p>工事中は、騒音・振動及び光環境の変化といった生息環境の質的变化が生じる可能性があるが、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により間接的影響は低減されると考えられる。また、本種は移動能力が大きい為、一時的に対象事業実施区域周辺へ逃避するとも考えられることから、工事中における間接的影響は小さいと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生息環境の改変による影響、及び生息環境への間接的影響は小さいと考えられる。</p>				

確認位置

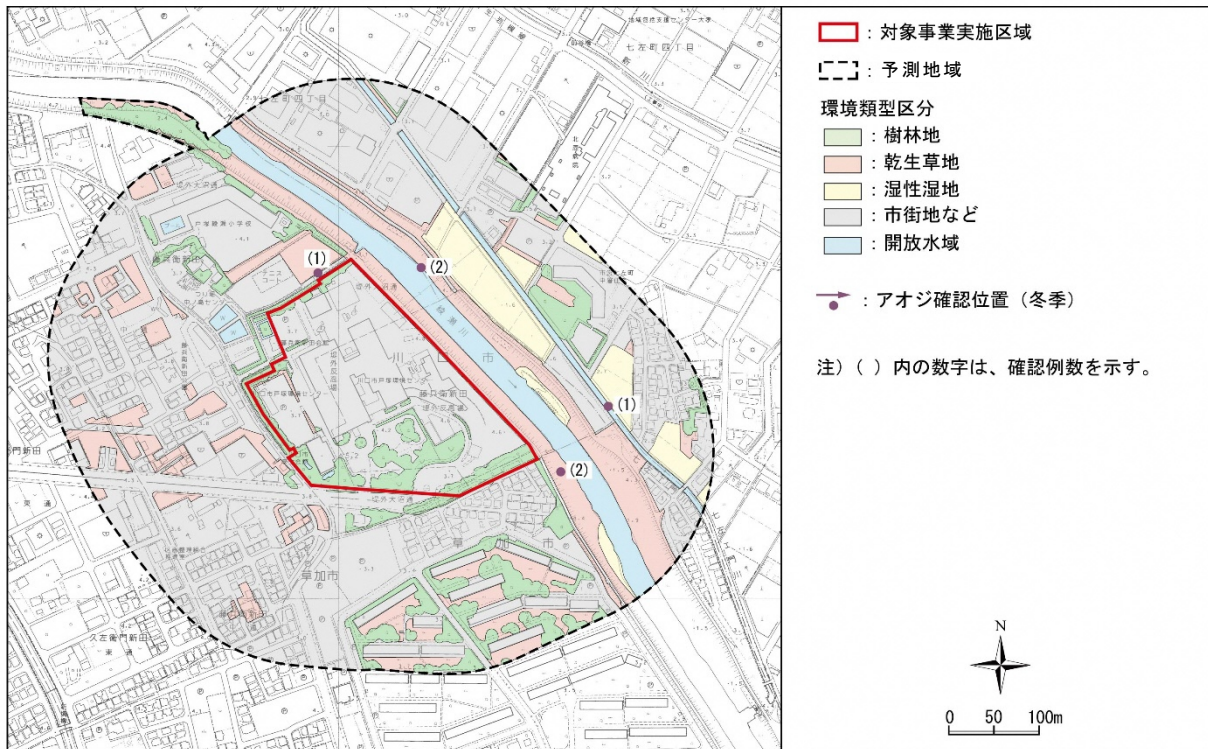


表 9.8-27(17) 保全すべき種の予測結果（コムクドリ）

項目	内容					
主な生息環境	平地から山地の明るい林や果樹園等に生息する。					
	予測地域 (ha)	3.8	改変区域内 (ha)	1.0	予測地域に対する 消失の割合 (%)	26.3
現地確認状況	対象事業実施区域外の綾瀬川の堤防付近の落葉広葉樹にとまる1例が確認された。					
	対象事業 実施区域内	0例	対象事業 実施区域外	1例		
予測結果	<p>対象事業実施区域外で1例が確認された。本種の主な生息環境は、平地から山地の明るい林や果樹園等であることから、対象事業実施区域及び周辺を生息環境としている可能性が考えられる。</p> <p>造成工事により生息環境である樹林地の一部が一時消失するが、緑地整備の実施により、供用時には現在と同様の状況が維持され、生息環境を代償できることから、影響は小さいと考えられる。</p> <p>工事中は、騒音・振動及び光環境の変化といった生息環境の質的变化が生じる可能性があるが、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により間接的影響は低減されると考えられる。また、本種は移動能力が大きいため、一時的に対象事業実施区域周辺へ逃避するとも考えられることから、工事中における間接的影響は小さいと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、予測地域における本種の生息環境の改変による影響、及び生息環境への間接的影響は小さいと考えられる。</p>					

確認位置

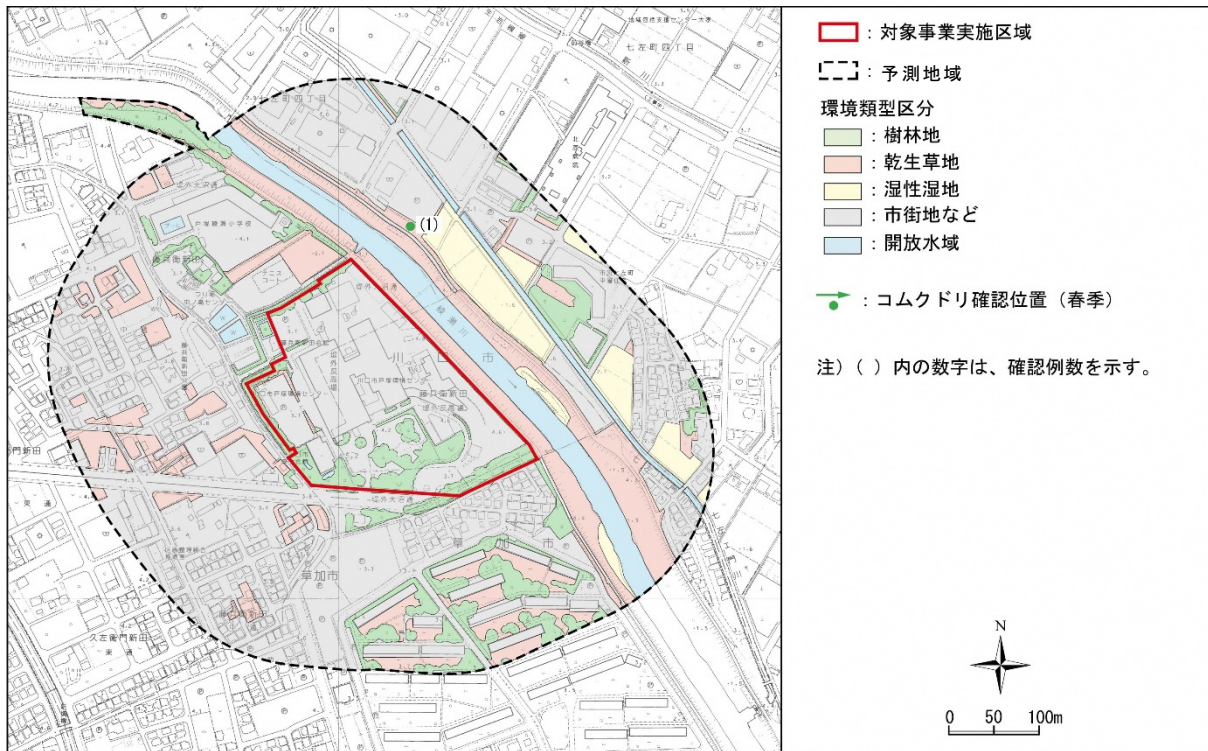


表 9.8-27(18) 保全すべき種の予測結果 (ツミ)

項目	内容				
主な生息環境	平地から山地の林、市街地の公園の林等で繁殖。				
	予測地域 (ha)	3.8	改変区域内 (ha)	1.0	予測地域に対する消失の割合 (%)
現地確認状況	対象事業実施区域内で1例が確認された。繁殖に係わる行動は確認されなかった。				
	対象事業実施区域内	1例	対象事業実施区域外	0例	
予測結果	<p>対象事業実施区域内で1例が確認され、採餌や繁殖を示す行動はみられず、確認状況から通過個体だと考えられた。</p> <p>造成工事により生息環境となりうる樹林地の一部が一時消失するが、緑地整備の実施により、供用時には現在と同様の状況が維持され、生息環境を代償できることから、影響は小さいと考えられる。</p> <p>工事中は、騒音・振動及び光環境の変化といった生息環境の質的变化が生じる可能性があるが、使用建設機械の配慮及び資材運搬等の車両の運行管理により間接的影響は低減される。また、本種は移動能力が大きいため、一時的に対象事業実施区域周辺へ逃避するとも考えられることから、工事中における間接的影響は小さいと考えられる。</p> <p>供用時には、対象事業実施区域内の緑地整備の実施により、照明による植物の生育環境への影響を低減できることから、供用時における間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p> <p>したがって、本種は通過個体だと考えられることから、事業の実施に伴う影響は限定的であり、予測地域における本種の生息環境の改変による影響、及び生息環境への間接的影響は極めて小さいと考えられる。</p>				

確認位置

